



あげぶね やたがわ
水郷の揚舟 谷田川めぐり

「水郷の揚舟 谷田川めぐり」は、板倉町の水文化を体験できるイベントです。利根川に平行して流れる谷田川で、船頭が一本の竹ざおを使い揚舟を鮮やかに操船しながら、ゆっくり周遊します。

平成13年に「第16回国民文化祭ぐんま 2001」が開催され、板倉町では郷土の水文化を中心とした「水の文化フェスティバル」を開催しました。その中の一つのイベントとして、水に関わる文化遺産である「揚舟」についての理解、周知を図るための「揚舟体験」を実施しました。「揚舟体験」が大変好評であったため、翌年に町の観光の一つとして事業化されました。

みつか あげぶね
板倉町の水文化（水塚・揚舟）

板倉町は利根川と渡良瀬川の二大河川に挟まれた土地であり、古来より水の恵みを受けるとともに治水が整備されていなかった時代は、度々水の脅威にさらされてきた歴史がありました。そこには水との共生を図るための生活のさまざまな「智慧」が生まれ、文化となり代々継承してきました。板倉町の水文化の代表的なものとして「水塚」と「揚舟」があげられます。「水塚」とは、水害から財産を守るために屋敷の庭から3～5mの土盛りした建物です。1階には食糧保管場所。2階が居住空間です。「揚舟」は、家の軒下に吊り下げられ、水害時の移動手段として使われました。しかし、治水事業が完了した現在では、水塚や揚舟の必要がなくなり、町内には数えるほどしか残っていません。



揚舟 谷田川めぐり

春の運行（5月～6月） 土・日曜日、祝日のみ運行 ※天候、河川状況により運休する場合があります。
 秋の運行（9月～10月） 1日7便 運行時刻：10時、11時、12時、13時、14時、15時、16時
 乗船料金：1人 1,000円（小学生以下無料）谷田川周遊コース（約40分：2km）



アクセス

電車では・・・
 東武日光線「板倉東洋大前駅」から
 ①タクシーで「群馬の水郷公園」まで10分
 ②「路線バス 館林板倉線」で10分、「原宿下」で下車、南に徒歩20分
 ③「路線バス 館林明和板倉線」で17分、「中新田」で下車、北に徒歩10分
 ※①～③のいずれかでご来場できます。

自動車では・・・
 東北自動車道「館林IC」から
 国道354号線を古河方面へ5分、「水郷公園入口」の信号を右折

